

●第4回 豊郷町総合開発審議会 議事録

日 時：平成30年11月1日（木）

午前10:00～

場 所：豊郷町役場

別館3階 会議室

1. 会長あいさつ

会 長：本日は、これまでの皆様からのご意見や、10月12日に開催された町長と教育長からのヒアリングでのご意向を踏まえ、基本構想の素案まで確認をしていきたいと思っております。活発なご意見をお願いいたします。

2. 議題

(1) 第3回審議会の「まちづくりの課題と基本方針（案）」へのご意見について

(2) 町長・教育長ヒアリング結果について

事 務 局：資料2「第3回審議会ご意見シートのまとめ」、資料3「町長・教育長ヒアリングの要点記録」、資料4「まちづくりの課題と基本方針（案）」の説明。

(3) 第5次豊郷町総合計画基本構想（素案）について

事 務 局：資料5「第5次豊郷町総合計画基本構想（案）」、資料6「参考事例資料」の説明。

会 長：本日の審議会で伝えきれないご意見等がありましたら、ご意見シートに記入して締め切り日までに提出をしてください。

10頁（5）③内の「公共投資に…」の箇所ですが、公共投資に限らず「全ての事業において評価を実施する」のような文言にしてみてもいかがでしょうか。そして「行政システムの改善」は、やや抽象的ではないかと感じています。豊郷町では、行政評価システムの確立はまだのようですので「行政評価システムの構築」としてはどうかと思います。そして、「行政組織の改革」ですが、組織改革は頻繁に行うことではないため、「公民連携の推進等に取り組む」と具体的に記載してみるのはいかがでしょうか。

委 員：参考事例は、豊郷町が参考にして取り組める部分があると思います。行政が主導するところや財政面など、内容を噛み砕いて具体的に知ることができるような、良く分かる資料でした。

委 員：「一生青春」は、良いキャッチフレーズだと思います。ボランティアが活躍して、各字で活性化していただけたら良いと思います。

委 員：町長と教育長のヒアリングの中で老人会の活動に触れられており、昨年まで老人会長に就任していましたので責任を痛感しております。現状からすると、婦人会の連合組織はありませんが、各地域で活動をしていると思います。残念ながら青年団は存在しません。毎年いずれかの都道府県で開催されている全国青年団OB会で、若者を応援する決意声明が出されています。現在、本町で組織がない原因は、地域で活動する場所がなくなってしまったからと考えます。以前は20時頃から開始していた寄り合いも、勤務が交替制であるとか、地域で働く場所が少なく町外で勤務しているた

めに集まれず、悩みがあっても打ち明ける場所がなくなってしまったのではないかと思います。特に大手の三交替制の企業への就職が増えたため、参加が難しくなってしまった経緯があります。

将来の地域構造図は、住宅ゾーンは新しい世界や生活ができるが、農業・農村ゾーンは農業だけの世界になってしまい、所得格差のようなことが生じてくるのではないのでしょうか。農業・農村ゾーンの変更は難しいことではあるが、働く場所がないため、町民が強力な旗振り役をしていかなければ動かないのではないかと思います。老人会の崩壊の可能性が有ること等、地域集落の機能が保持できていない現実を町長は見ておられます。受け皿となる年代層の組織を活発化させないと、せっかく新しい計画を立てても、実現できないのではないかと考えています。

委員：障害者の「がい」の表記について、漢字、ひらがなのどちらが適切なのか、次回の審議会までにお知らせいただきたいです。そして、10月23日開催の全管理職会議の内容を今回の審議会に繋げる予定、とありましたが、意見が出ていましたら教えてください。他は、ご意見シートを利用させていただきます。

事務局：本日の資料2～4を基に、第4回目は資料5の基本構想について審議されることも含めて会議で報告をし、役場の立場から全職員で事業の内容を考えて欲しいと投げ掛け、締め切りを11月9日にしました。第5回か6回の審議会ですら具体的な構想に繋がるように準備させていただければと思います。

委員：理想が高すぎると実現が難しくなるでしょうから、着実に実現できることを計画に盛り込みたいという思いがあります。参考事例については、国民性や地域性をしっかりと見極めて検討してほしいと思います。

委員：自宅近くの中山道で事故が多発しています。大型車が道路標識を避けて通過しているようで、標識の位置にも問題があるのかもしれない。湖東三山にインターが開通して以降は大型車が増加しており、事故防止の対策の検討も進めてほしいと思っています。

委員：この先の10年を考えると、地域を区画するよりどう発展させるかを考えていただいた方がよいと思います。新しい住民が増えて環境が変化する中、皆で共存できることを考える時期なのではないでしょうか。

委員：農業振興を考えていくのであれば、未整備の都市計画を作成して農業振興計画で土地利用の区域設定をしていくほうがよいのではないかと考えます。

そして、教育委員会で分館長制度の推進が図られていますが、マンネリ化してスムーズに行われていない状況です。それぞれにプライバシーの問題があり、地域コミュニティーの希薄化で推進されていないことも原因だと思います。豊栄のさとの利用率の低下もこの制度が動いていないことが起因しているのではないのでしょうか。教育委員会は制度を固持するより、地域での社会教育の方針を全体的に検討し直す方がよいのではないかと考えます。そして、子ども達の通学路の安全を確保するため、地震によるブロック壁倒壊の問題にはふれるべきだと思います。

委員：療養中でしたので、審議会は初めての出席になります。資料は拝見していましたが、行政はこれだけの事業をどのような形で進めていくのか、今後10年の変化に地域社会が対応できるビジョンや提言に結びつくのか疑問に思っています。そして、私は老人会と商工会のまとめ役ですが、既存の団体が維持できず崩壊に向かっているのではないかと思わざるを得ません。そして、施策のための予算的措置の裏付けがあれば、具体的な内容について夢を描けるのではないかと思います。また、これから先、町民が夢を膨らませるようなキャッチフレーズがないものかと思っています。

会長：今後、貴町では、定期的に総合計画の評価と見直しをしていくと良いと思います。

委員：今回の素案を具体化する方法について、行政は民間を、民間は行政を巻き込んで協力し合って実現できれば、豊郷町は今以上に良いまちになっていくと思います。希薄化の話が出ていますが、浜松商工会青年部が大河ドラマを誘致するに当たって一丸となりその役割を果たし、行政がバックアップして成功している事例があります。まち全体を良くしていくには、行政だけでは無理だと思いますので、住民との協働が必要だと思います。

委員：年末には8号線バイパスの方向性が決まるだろうと思います。将来的に地域構想に組み込んでほしいと思います。

委員：よい資料ができていると思います。キャッチフレーズのようにするためには健康が大切であり、豊郷町は健康診断など多くの健康管理がなされており、総合計画の取り組みに繋がっていると思いました。キャラバン・メイトをしていますが、認知症予防の推進を図り、安心して暮らせるまちづくりの取り組みに力を入れていかなければと感じさせられました。

会長：いただいたご意見に修正していくことを前提として、概ねこの基本構想案で了承していただけますか。

↓

了承

会長：ありがとうございます。キャッチフレーズの代替案がありましたら提示をしてください。第5回以降は、具体的な施策について検討していきたいと思います。

3. その他

事務局：

- ・管理職からの事業検討内容の提出
…11月9日を締め切りにしています。
- ・「ご意見シート」への積極的な記入をお待ちしております。
…11月12日が締め切りです。
- ・今後予定について
11月28日：第5回総合開発審議会
12月26日：第6回総合開発審議会

午前11時30分終了